

## 第2次那須塩原市総合計画 第6回 審議会

開催年月日：平成28年11月7日(月)

開催時間：14時00分～16時05分

開催場所：那須塩原市役所西那須野庁舎201～203会議室

### 委員

No.	氏名	出欠	No.	氏名	出欠
1	阿久津 裕		16	佐藤 幹雄	○
2	網代 用子	○	17	佐藤 由紀子	○
3	安宅 勝	○	18	澤田 友喜	○
4	伊澤 昭夫	○	19	相馬 賢市	
5	石下 かをり	○	20	高久 結理	○
6	薄井 海雄	○	21	高松 英樹	○
7	榎本 建司	○	22	西田 由紀子	○
8	大島 三千三	○	23	樋山 則男	○
9	大野 昌弘	○	24	平山 博	○
10	菊池 太輔	○	25	村山 茂	○
11	君島 章男	○	26	室越 礼一	○
12	君島 正三		27	目黒 ケイ子	○
13	君島 将介		28	柳場 美枝子	
14	君島 理恵		29	山島 哲夫	○
15	越石 直子		30	渡邊 亮	

## 1 開会

## 2 会長あいさつ

## 3 議事

### 【会長】

それでは議事に入りたいと思います。

(1) 第2次那須塩原市総合計画前期基本計画（素案）について、事務局から説明をお願いします。

### (1) 第2次那須塩原市総合計画前期基本計画（素案）について

(資料1について事務局説明)

### 【会長】

今までの議論を踏まえて非常に良くまとまっています。

前回までは具体的な数値目標などは出ていませんでしたが、今回は「目指すまちな姿」も数値目標も出ている。それから、前回議論した重点プロジェクトについても前回の議論を基に修正しているということです。

まずは事務局から説明のあった点、それ以外の点も含めて、何か質問やご意見等があれば、全体的にどこでも良いのでお願いしたいと思います。

### 【委員】

46ページの④「空き家等を有効活用する」について、担当課が都市整備課となっているが、空き家関係なので建築指導課も含めた方が良いと思います。

### 【会長】

どこの課でやるか、というのは市役所の中で決めていただいて良いと思うのですが、今のご意見いかがでしょう。

### 【事務局】

担当課に都市整備課と記載されていますが、現在、庁内では空き家等の検討委員会を立ち上げ、関係各課が集まり検討を進めています。こちらの中で1つ窓口となる課として記載させていただいておりますが、都市整備課のみで事業を実施するという訳ではありません。建築指導課も含め関係各課の意見をいただきながら事業を実施していきます。

### 【会長】

窓口となる課の記載ということで、具体的には複数の課が関わってきますけど、色々な関わり方があるから、窓口として1つ決めたという事だと思います。

### 【委員】

1つ心配したのは、計画が進んだところで、最終的に法律で駄目となるケースがあるという点です。

### 【会長】

窓口課を決めて、執行体制を確立していただく、という事で良いのではないかと思います。他に何かありますか。

### 【委員】

一番最後に財政フレームが載っていますが、本日お配りいただいた広報の記事に27年度決算が載っています。財政フレームの歳入歳出の項目と、広報での歳入歳出の項目で記載が違うのですが、この形で載せなければならない理由があるのですか。

### 【事務局】

財政フレームの歳出では、人件費、扶助費、物件費、普通建設事業費、交際費、その他という形で分かれています。その他の中には維持補修費、繰出金などが入っています。

広報では1年間の決算として、歳出は民生費、教育費、総務費といった「使い道」別としての決算となっています。一方、財政フレームでは5年間の大きな括りとして、人件費、扶助費といったおおよその数字で、財政の見通しが記載されています。普通建設事業費の中には建設費、学校建設費、道路整備費などの工事費が含まれており、毎年の使い道については議会の了解をいただきながら事業に振り分けて決めていくこととなります。

### 【会長】

財政フレームは5年間でまとめられていて、各年度は歳入、歳出で議会に出して決算の数字となっており詳細に記載されている。財政フレームはあくまでも見通しということとまとめているということです。

### 【委員】

細かい事ですが、目標値が示された中で、なぜこの目標値としたのか理解できないものがありました。1つ強く違和感があったのが96ページ③「青少年のリーダー的人材育成を推進する」の指標、「子どもフェスタ来場者数」ですが、どう関連しているのか、これで計られるかが理解しがたいのですが。

### 【会長】

国の計画も全て数値で示しており、数値として出せるものを何かあげてみるというやり方をしています。それだけで達成状況を判断するという事ではないですが、今取っている数値がそれしかないという事だと思います。事務局でいかがですか。

### 【事務局】

いくつかの指標を担当課で出して検討した結果、今回の指標となっています。日頃から取っている数値の中から出すのが難しかったというのはあるかと思います。

### 【会長】

あまりにも反映していないものがあれば、今後パブコメもありますので検討していただければと思います。ただし、事務局を代弁しますと、指標で数字があるものは以外と少なく、少し難しいということです。疑問があまり出ないように改善していただければと思います。

他にいかがでしょうか。

### 【委員】

36ページにある③「生活習慣病を予防する」の目標値が「大腸がん検診の受診率」となっていますが、大腸がん以外にも癌はある訳で、これは代表的な意味という事ですか。

### 【会長】

このあたりは、まだ時間があるので担当課に精査していただいて、パブコメも踏まえながら修正していただければと思います。

### 【委員】

22ページ③にある指標で「消防団員の充足率」90%は高すぎる気がします。最近の例では、西那須野の定数355人に対して278人しかおらず約80%となっています。黒磯でそれほど高いところがあるのでしょうか。

### 【事務局】

充足率は、黒磯地区・西那須野地区・塩原地区を合わせた中で実数を出している訳ですが、団によっては消防団長をやった後で、人がおらず消防団員に戻って活動をしている所もあります。そうすると、その団は充足率100%になる訳です。

### 【委員】

64ページの①「出会いの創出・新婚生活を支援する」の空いている部分に、結婚サポートセンターの関係性を示す図を前のページのように入れてはどうでしょうか。サポートセンターが中心に来るのか、出会いと結婚が来るのかは別として、分かりやすい関わりの図は良いと思いました。

### 【会長】

何か図や工夫が出来ましたら、事務局でお願いします。

### 【事務局】

現在、結婚サポートセンターの設置に向けて、市民協働推進課が今年度から検討委員会を設置しており、計画が出来るのが今年度末となっていますので、間に合うかも含めて持ち帰り、担当課と協議させていただきます。

### 【委員】

結婚サポートに関してですが、33年度の目標が8組というのは少ないのではないかと思います。一昔前なら地域の仲人でも簡単に達成できる人数だと思います。

### 【会長】

これは、現在検討段階で出てきた数字だと思いますが、年間8組ということでしょうか。

### 【事務局】

数字が単年度か累計かも含め、検討させていただきます。

### 【委員】

同じページで疑問に思ったのは、左のページにあります課題の「若者の経済的不安の解消」ですが、取組内容と一部結び付くとは思いますが、もっと根本的な事があると思います。

他のページでも若者の支援が出てくるところがありますが、結婚以前の経済的な自立という点が大きいと思います。全体的な施策の中で手当てされたということでしょうか。

### 【会長】

122ページの重点プロジェクト3「切れ目ない支援」に入ってくる気もしますが、事務局でいかがですか。

### 【事務局】

若者の支援に関して、結婚の部分については「出会いの創出・新婚生活を支援する」に、雇用については81ページの「雇用環境を整備する」にそれぞれ記載しています。

関連づけた考え方については、先ほどの重点プロジェクト③で記載していますが、今後のパブコメなども踏まえ検討させていただきます。

### 【委員】

私は、動植物の環境保全をしていますが、12ページの「再生可能エネルギーの利用を促進する」について、太陽光発電の設置箇所を12か所から15か所にすると思いますが、近年、那須塩原市では太陽光発電を設置することで緑の平地林が極端に減少しています。このまま太陽光発電を設置すれば、逆に地球温暖化を促進しかねませ

ん。これ以上、緑を減少させ太陽光発電を増やす意味があるのでしょうか。

動植物調査研究会でも、土地利用は個人の土地であり難しいと考えていますが、市としてはどう考えているのでしょうか。抑える対策があるのか、見過ごしてしまうのかお聞かせいただきたい。

### 【事務局】

太陽光発電ですが、環境管理課においても多くの方に同様のご質問をいただいております。市としては、緑の保全が必要だという考え方があり、一方で脱化石燃料も必要だという考え方があります。

基本的には空き地に太陽光を設置するのがベターだと考えていますが、個人の土地であり森林が伐採されて設置されるケースが那須塩原では多く見受けられます。法律的な規制については、林地開発の許可申請手続きを経れば開発が出来てしまうため規制する手立てがなく、市の環境サイドでも方策について検討しているが有効な手段がないのが現状です。

### 【会長】

難しい話ですが、森林を壊して作っているものを推奨している訳ではないという事が文章として分かれば良いという事です。指標の「太陽光発電設置箇所数」の所を、森林を壊して設置するものでないという事が分かるように記載しておけば良い訳ですね。そうしないと市が平地林を壊して設置することを推奨しているように見えかねない。下段に「注」で書いておいても良い。

### 【事務局】

指標につきましては、会長をはじめ数名の委員からもありましたとおり、単年度なのか累計かのか、指標がどうなのか等、市民が見た時に分かりやすい表現に修正させていただきますと思います。

### 【委員】

78ページの①指標「卸売業・小売業の商店数」が基準と目標で同数となっておりますが、2つの商工会を合わせると2,500程度の会員数があります。ここでは卸売業、小売業だけですが、商工団体に入っていない商工業者も含めた総店舗数にしてカッコ書きにすると良いと思うので検討してみてください。

### 【委員】

81ページ、有効求人倍率のグラフで、文章を読んで初めてハローワークの求人倍率と分かります。図の大田原、黒磯に「大田原ハローワーク」「黒磯ハローワーク」といった形を加えると、より分かりやすいのではないかと思います。

### 【委員】

74ページの目標値について、26年度と33年度で同数または減少しているのは目標を達成している状態なのか、現状維持なのか。また④の優良農地が減っているのは、人口減少を考えれば分かるが減少するのはどうかと思います。

あと、細かい事ですが118ページの一番上「園芸作物の振興」の改行が間違っています。

### 【事務局】

目標値が同数または下がっている点について、先ほどの「優良農地を確保する」では、下げる目標ということではなく、農地転用で農振農用地となる面積が減ってきている中で、市としては極力面積を維持したいという目標ということです。農地も個人の財産となりますから相当の事がない限り転用の許可がされています。そうした中でも横ばいを目標として上げています。

### 【委員】

最初の会議だったかと思いますが、農振地域、用途地域の見直しが出来ないのか、との発言をさせていただきました。そこを直さずに目標値を設定しているため、こうした目標値になっていると思います。まちがどう形成されているのか検証して見直して将来こうしていきたいとすれば、より良い数字になってくるのではないかと思います。

### 【事務局】

第2次総合計画の見直しと合わせて、市の土地に関する一番上位の計画であります「国土利用計画那須塩原市計画」の見直しをしています。それに基づき、前回お示しました土地利用構想のビジョン、その中で10年後の農地、宅地の推計をしており、目標値も設定しています。目標値を決める上では、都市計画課、農務畜産課と議論をしており、例えば400号バイパス沿線に農振地域があるなど、現実と乖離している所に関しては、国土利用計画に基づいて5年に一度の見直しの際に連動した検討を進めていきます。

### 【委員】

先ほど若者の支援についての意見が他の委員から出されましたが、雇用の関係では、ハローワークと市との間で雇用対策協定を締結しており、その事業計画の中で、若年者に対する支援、生活困窮者に対する支援について記載されています。

私が確認したい点としては、68ページの①「まちなかの賑わいを創出する」の駅周辺とは、黒磯、那須塩原、西那須野駅の3駅を指すのでしょうか。

また③の「那須塩原駅周辺地区を整備する」とありますが、那須塩原駅に賑わいや活性化をあまり感じません。土日は利用していないので、その日に賑わっているのかもしれない。①の4つは黒磯、西那須野のみをイメージして書いている印象があ

り、③にも具体的な活性化策を明記しても良いと思います。

### 【事務局】

大変失礼しました。①「まちなかの賑わいを創出する」の「駅周辺地区の活性化」は前回会議の重点プロジェクト説明の際に、「JR 3 駅周辺地区の活性化」に改めると説明をしましたが、修正が漏れていました。

また、西那須野駅周辺はご承知のとおり整備がほぼ終了している状況です。黒磯駅、那須塩原駅周辺については、これから整備という事になりますので、こうした記載となっています。今後の西那須野駅周辺はソフト事業が中心になるかと思えます。

### 【委員】

112 ページの②「シティプロモーションを推進する」の目標値「市民推奨度」ですが、基準年度「-10.9」、目標年度「-10」というのが良く分からないのですが。

### 【事務局】

市民推奨度ですが、左のページに円グラフで「本市の魅力推奨度」とあります。まず推奨について10段階で評価をし、それを点数化してポイントとして表すのが市民推奨度です。平成27年度にアンケートをした時に市民推奨度がマイナスでありましたので、そこを改善する目標として上げております。

### 【委員】

ネットプロモータースコアの事かと思いますが、前ページの円グラフにある、それぞれの割合と目標値の数字と合わないので整合性を取った方が良いと思います。

### 【会長】

今、説明すると時間が無くなりますから分かりやすい形で修正していただければと思います。

### 【事務局】

市民の皆様が見た時に「-10.9」「-10」と言われても分かりませんし、「推奨度」という言葉に違和感を持つ方もいると思いますので、違う指標に差し替えた形で整理させていただきます。

### 【委員】

33 ページに「高齢者支援を充実させる」、63 ページに「出会い・結婚を支援する」とありますが、高齢者は5人に1人から、やがては3人に1人となる中で、支える人は若い人になります。生産年齢人口が必要ですが減っていくとなると、出会い・結婚サポートの充実が大切となります。



私は高齢者支援の充実よりも若い人の支援を充実させることが重要だという持論を持っています。高齢者の目標値が200人で、成婚数が8組では話になりません。なぜ結婚しないかについては、給料、出会いの場など色々な理由があると思いますが、市ではアンケートの結果などで把握していますか。

### 【事務局】

市としても出会いの場を作って、1組でも多くの方に結婚していただいて妊娠、出産に繋げていただければと思います。結婚についてはサポートしていかなければならない時代だと考えています。そうした中で場当たりの施策を展開してはならないため、「結婚サポート総合戦略」を現在策定しています。総合戦略を作るにあたっては市民の皆様のニーズ、意向、実態把握が必要でありますので、アンケート調査を実施しています。そちらに基づき的確に手を打って成果を出していきたいと思っています。

### 【会長】

その点については重点プロジェクトにもありますので、しっかり取り組んでいただければと思います。

### 【委員】

結婚に関してですが、昔は商業者、農業者のお子さんが非常に多かったのですが、今はサラリーマンのお子さんが多くなっています。サラリーマンの方には産休育休がありますが、商業者、農業者の方にはない。専業主婦の支援対策をお願いしたいと思っています。

それと商業関係で、那須塩原ブランドの活性化、育成について触れていないので、どう育てていくのかを検討してもらえればと思います。

### 【事務局】

結婚と合わせて、販路拡大についてもしっかり進めてまいりたいと考えています。

### 【委員】

すごく細かな計画だと感心しました。ご意見や数値の違いなどありましたが、行間に施策が埋もれていると思うので、そこを皆さんに知らせていくかも大切になって、それが目標になれば那須塩原に住んで良かったというまちになると感じました。

### 【委員】

前回の第1次後期基本計画では、子育てに関しては「福祉」という一括りでしたが、今回は非常に細かく施策が網羅されていますので見やすく良いと感じました。ただ、90ページの⑤「家庭での子育て支援を充実させる」の目標値、「子育てに対する満足度」が43%というのは低いと思うので、希望も含めて33年度の目標60%よりも高い目標値にいただければと思います。算出根拠もあると思いますのでお任せ

しますが個人的には高くなることを期待します。

### 【会長】

算出根拠もありますので、出した時に全然違う数値にならないようにしていただければと思います。

### 【委員】

28年度の結果については、どこかで公表されるのでしょうか。

### 【事務局】

この会議の中でも検証結果書ということでまとめておりますが、28年度がまだ終わっていないため、見込みとしての検証結果でした。

事業の指標としては、事務事業評価にて検証いたします。

### 【委員】

65ページの「姉妹都市交流・国際交流を推進する」について、ひたちなか市、新座市、滑川市と姉妹都市提携が行われていますが、何を交流しているかはなかなか表には出てきません。ひたちなか市とは巻狩まつり、文化交流などで交流しています。

また、オーストリアのリンツ市とも姉妹都市提携をしました。こちらは異文化の交流ということですが、どのあたりを中心として交流していくのか。加えて、予算について国内を減らして海外に持っていくのはあまり良いとは思いません。

国際交流はアジアの国との提携が多いのですが、オーストリアとは文化も含めた交流を期待します。

基本政策6の「まちの活力を高めるために」について、農業、畜産業、商工業、観光は切っても切れません。農業については大きな組織として「JAなすの」がありますが、観光、商業については広がっていない印象があり、まとまりが必要と考えます。

オリンピックを契機としたとのことですが、具体的な方策はどうかを考えていただければと思います。

### 【委員】

80ページの②の取組内容「首都圏向けのプロモーション」は2020年の東京オリンピックに向けての事業かと思えます。合わせて先ほど出ましたリンツ市との姉妹都市交流は「インバウンド事業」に関わってきますが、地域情報誌を作る立場として、今後の那須塩原の事業展開は非常に興味があります。

### 【事務局】

インバウンドについては、上海に独自の観光事務所を設置しまして、中国関係の富裕層に対して本市の魅力をPRしています。また上海に留まらず、アジアを睨んだ中で事務所の設置を検討しています。加えて来年に準備し、再来年に実施するDC(デ

イステイネーションキャンペーン)が栃木県に決定したということで、県が主導権を取る中で本市、那須町、大田原市、日光市が連携してインバウンド事業を積極的に展開していきます。

#### 【委員】

基本政策7の子育てに関して、人間は体を動かし、考え、学び、遊び、多くの方々と交流をする、健康づくり、語り合う場を望んでいます。そうした中で健全な体と心を基に調整、発展に寄与すべく活動している団体を受け持っていますが、基本計画で記載されている各分野で遅滞なく具現化されればありがたいと思います。

#### 【委員】

80ページの「観光を活性化させる」の中で、本市には塩原、板室があり「観光宿泊者数」「観光客入込数」といった数字が表に出ていますけれども、黒磯地区では巻狩まつり、西那須野地区ではふれあい祭りや6月のうまいうまい感謝祭などのイベントもあります。こうしたものも観光の活性化として入れていただければ良いと思います。

今後の定住促進を考えた中で、まちなかでも大きなイベントがあるという事が首都圏の方にPR出来できるとともに空き家、空き店舗対策にも効果があると思います。

#### 【会長】

イベントも観光として位置付けることで、宿泊者数だけでなく観光客を呼び込めるという事です。

#### 【委員】

49ページの「公共交通の利便性を高める」について、私は車を持っていないので電車か歩きで移動しています。バスも利用したいのですが、バス停までが遠くて自転車を使う、雨が降ると出かけるのを諦めるなど利用を見合わせてしまいます。こういう人は私だけではないと思います。

また、バス路線を調べると、行きたい所に路線がない、店の周辺にはバス停があるが住宅地にはないといった状況です。今後、高齢者が増える中で、目的地だけでなく出発点も考えていただければ良いと思います。

#### 【会長】

バスの路線を増やすのは難しいと思いますが、今回は停留所を増やせばとの話です。事業者がいるため市単独では決められないが、地域バスの利便性を高めるという施策の中で検討していただければと思います。

#### 【委員】

22ページの③「消防団を充実・強化する」ということで、私も消防団活動をして

いる中で1つ感じているのは、消防団員の充足率です。90%で一見高そうに見えますが、昼間の火災だと仕事を抜けて出動できるメンバーのみとなりますので、全体の20～30%の人数しか確保できないのが現状です。出来れば平成33年度は100%になるよう頑張っていたらと思います。

2点目としまして、52ページの②の「歩道を整備する」ですが、最近のニュースを見ますと児童の登下校の際の痛ましい事故が多く、今後ドライバーも高齢者が増加するため、目標に向けて距離を延長してもらえようお願いします。

3点目としまして、84ページの「那須塩原ブランド」についてですが、私の作っている農産物もブランドとして扱っていただいています。認定を受けて2年間くらいは会議等も4～5回ありましたが現在はほとんど無い状況です。ブランド品生産者の横のつながりが全くないので、目標年度の20品目を増やすだけでなく、横のつながりを含めて那須塩原市のPR活動につなげていけたらと思いますので、その点も検討していただけたらと思います。

### 【会長】

ひと通りご意見をいただきました。

いつもならここで全体をまとめてご意見をいただくのですが、時間もありませんので、ほかのご意見は資料にあります意見書にご記入いただくという事で、後で事務局から話があると思います。

今までお話しいただいた意見等を踏まえて書き直したものをパブコメに出して、最後にここで全体をチェックするというにしたいと思います。

第1号議案については終了とさせていただきます、第2の議案についてご説明をお願いします。

### (2) 人口ビジョン (案) について

(資料2について事務局説明)

### 【会長】

全体の人口は国で推計しており、第2次総合計画では115,800人という目標数値を決めるという事です。県全体で人口が減少している中で、那須塩原市では目標人口に向けて各施策を実施していきたい、総合計画を策定していきたいという事です。

これでよろしいでしょうか。よろしければ、議事が終了しましたので事務局にお返しします。

### 【事務局】

それでは、大変忙しいところ貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。この後は、皆様のお手元にお配りしております広報でも総合計画の記事を掲載させていただいておりますが、これまでのご意見から作成してまいりました基本構想、基本計画についてパブリックコメントということで、市民の方からご意見をいただく

ために紹介をさせていただいており、期間は今月の15日から12月14日ということでご意見等いただくことになっております。

また、皆様からご意見もあるかと思しますので、お手元の意見書にて11月25日までに企画政策課までご提出いただければと思います。

皆様のご意見、パブコメのご意見、今後ご説明することになっております議会からのご意見を全て踏まえまして、最終的に修正したものを皆様にお示ししてご確認いただきたいと思っております。

次回の会議は12月中か1月になります。年末年始のお忙しい中になりますがよろしく申し上げます。

### **【会長】**

今日指摘されて直すべきところは出来る範囲で直していただいて、最終的には審議会までに直していただくということで申し上げます。

### **【事務局】**

その他でご意見等はございますか。

それでは長時間にわたりご意見等いただきましてありがとうございました。

今後とも総合計画の策定にあたりましてはご協力いただきますようよろしくお願いいたします。大変ありがとうございました。